

# 学校と保護者の“結びあい”を考える



近年、保護者から学校に対して様々な要求や苦情が寄せられるなかで、学校の責任範囲を大きく超えるものや学校の努力によっては解決不可能なものなどが急増してきているといわれています。教員に対する各種のアンケートなどでも、こうした要求への対応が重荷になりつつあることが示されています。また、教員志望の学生でも、この問題があるために教職にためらいを感じてしまうことが少なくないようです。

今回の教育フォーラムでは、このような学校に対する無理難題要求の問題にいち早く気づいて十年以上に亘り調査と研究に取り組んでこられた大阪大学大学院の小野田正利先生を講師としてお招きします。無理難題に振り回されるのでもなく、非常識といって切り捨てるのでもなく、適切な対応を通して学校と保護者の“結び合い”を作り上げていくにはどうすればよいのか、ともに考えていきたいと思ひます。

**日時：平成23年2月13日（日） 午後1時～4時**

**場所：山梨大学教育人間科学部 J号館5F A会議室**

**講師：大阪大学大学院人間科学研究科 教授 小野田正利先生**

\*教員、保護者、学生など、教育に関心のある方でしたらどなたでも参加できます。入場無料です。

主催：山梨大学教育人間科学部 後援：山梨県教育委員会、甲府市教育委員会